

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度		開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	社会							授業形態		講義	
科目コード	750081	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング		
担当教員名	安藤 重則									ICT活 用	○
授業概要	小学校において、社会科教育を担当する教諭等に必要な基礎的な知識及び授業構築力、授業実践力等を身に付けることを目指す。そのために、現行学習指導要領の目標・内容の理解はもちろんのこと、文部科学省が毎年実施している全国学力・学習状況調査（小学校：国語科・算数科・意識調査）の結果や分析をもとに、社会科において育成すべき資質や能力などを考え、日々の授業に活かせるようにする。また、宮崎県教育委員会がすすめている「ひなたの学び」について触れ、問題解決的な学習の大切さに気付くようにする。さらに、宮崎県で活躍しているスーパーティーチャー（以下ST）の社会科授業をVTRで視聴する機会を設定して、優れた指導力とはどのような点か討論するなど学生自らが授業の構成要素に気付くようにする。さらに、第3学年・第4学年で重視される見学・調査などの体験的な学習や第5学年・第6学年で重視される資料活用については、具体的な内容を取り上げて授業構成を考える時間を設定する。これらの内容を通して、教員採用試験における社会科教育への知識・理解や模擬授業、面接等における応答などにも対応できる力を育成していく。										
関連する科目	教科教育法（社会）										
授業の進め方 と方法	受講者が主体的に社会科授業づくりについて考え、取り組み、知識や技能を得られるように努める。そのために、まず、グループワークで社会科の授業についてそれぞれの考えや経験などを出し合い、社会科授業づくりの課題を探る。その課題解決のために、小学校学習指導要領解説編社会や「ひなたの学び」などを基に、実態把握や目標・内容分析、授業構成、発達段階に応じた内容の違い、ICT活用などについて学ぶようにする。それらを活かして、授業づくりや模擬授業を行い、学びの成果を実感できるようにする。さらに、教員採用試験に向けて、これから取り組むべき事項についても考えられるようにして、目指す目標に向けて意欲と自信がもてるようにする。										
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション 15回の講義内容の説明とともに、社会科授業と授業づくりについて考えます。										
授業計画 【第2回】	第2回：グループワークで社会科の授業について、それぞれの考えや経験などを出し合い、社会科授業づくりの課題を探ります。										
授業計画 【第3回】	第3回：児童の実態を全国学力・学習状況調査から理解します。										
授業計画 【第4回】	第4回：社会科教育が目指すことを現行小学校学習指導要領解説編社会から考えます。										
授業計画 【第5回】	第5回：各学年の目標及び内容を比べながら取り扱う社会的現象の広がりとしに付ける力の深まりを考えます。										
授業計画 【第6回】	第6回：第3学年・第4学年の目標及び内容を理解します。特に、重視される見学・調査などの体験的な学習の在り方について考えます。										
授業計画 【第7回】	第7回：第5学年・第6学年の目標及び内容を理解します。特に、重視される資料活用を基本とした学習の在り方について考えます。										
授業計画 【第8回】	第8回：宮崎県がすすめる「ひなたの学び」とともに、社会的な見方・考え方を育てる問題解決的な学習について考えます。										
授業計画 【第9回】	第9回：スーパーティーチャー（ST）の社会科授業をVTRで視聴して、優れた指導力について考えます。										
授業計画 【第10回】	第10回：現行学習指導要領で改訂された第3学年配付の地図帳の使い方について解説します。併せて、タブレット等を活用した授業についても考えます。										

授業計画 【第11回】	第11回：これまでの講義を通して得た知識や考えたことをもとに模擬の授業案作りを行います。
授業計画 【第12回】	第12回：模擬授業を互いに行い、よいところや改善が必要なところを出し合います。併せて、第2回で行ったグループワーキングでの社会科授業づくりの課題解決について考えます。
授業計画 【第13回】	第13回：社会科と総合的な学習の時間の類似点や相違点について、目標や内容、活動内容から考えます。
授業計画 【第14回】	第14回：教員採用試験の問題傾向について説明し、その対策について考えます。
授業計画 【第15回】	第15回：まとめを行います。これまでの講義内容を整理して、社会科の授業づくりのポイントを再確認しながら授業づくりの基礎が押さえられようにします。
授業の到達目標	1 現行学習指導要領に示された小学校社会科教育の目標及び内容を理解することができる。 2 授業を行うために必要な実態把握や指導目標、内容、授業構成、発問・指示、教材づくり等について、講義やST授業視聴、模擬授業を通して体験的に学ぶことができる。 3 社会科授業の楽しさを知り、授業づくりのために社会的事象に関心をもって生活したり、自ら社会的な体験活動に参加したりする意欲をもつことができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	・個人レポート課題の準備 ・模擬授業のための準備
授業時間外学習【復習】	・講義内で得た知識や協議した内容の整理 ・教員採用試験へ向けての過去問の課題
課題に対する フィードバック	・個人レポートを提出させて、講師が添削や解説を朱書きして返却する。 ・毎回、講義の始まりに課題についての取組状況について時間を設定する。さらに、全体にかかわる内容については、補足説明を行うようにする。
評価方法・基準	・講義内容への取組や理解を評価する。10％ ・個人レポートの内容や取組を評価する。10％ ・授業づくりや模擬授業への取組を評価する。30％ ・最終レポートを評価する。50％
テキスト	・小学校学習指導要領解説編社会 ・講義内容に関連する資料やプレゼン資料
参考書	適宜紹介
備考	・本講義に主体的に取り組めるように、学生同士のグループ協議や担当者も交えた集団討論の場を多く設定するようにする。 ・担当者は、小学校及び中学校で社会科教育に関わった経験者である。